

意見招請を実施する案件

【意見招請番号：1】

案件名	独立行政法人日本学生支援機構損害保険
-----	--------------------

直近の調達内容

契約件名	平成 28 年度独立行政法人日本学生支援機構損害保険
調達方式	一般競争入札（最低価格落札方式）
入札公告日	平成 28 年 3 月 9 日
競争参加資格	<p>本件の一般競争入札に参加できる者は、以下の条件をすべて満たしている者とする。</p> <p>(1) 平成 25・26・27 年度文部科学省競争参加資格（全省庁統一資格）において、「役務の提供等」の競争参加資格を有する者であること。</p> <p>(2) 予算決算及び会計令第 70 条及び第 71 条の規定に該当しないこと。なお、未成年者、被保佐人、被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同 70 条中、特別の理由がある場合に該当する。</p> <p>(3) 本機構理事長から取引停止を受けている期間中でないこと。</p> <p>(4) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成 3 年法律第 77 条）に規定するところの暴力団及びその構成員、準構成員又はその関係者でないこと。</p> <p>(5) 保険業法（平成 7 年 6 月 7 号法律第 105 号）に規定に基づき、損害保険業免許を受けている者であること。</p> <p>(6) スタンダード&プアーズ又はムーディーズにおける保険財務力格付けが「A」以上であること。</p> <p>(7) ソルベンシーマージン比率が 500%以上であること。</p>
事前提出書類及び提出期限	<p>(1) 平成 25・26・27 年度文部科学省競争参加資格（全省庁統一資格）の写し 1 部</p> <p>(2) 保険業認定証の写し 1 部</p> <p>(3) 競争参加資格（6）及び（7）のそれぞれの資格を満たすことを証する書類 1 部</p> <p>(4) 下見積書 1 部</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>平成 28 年 3 月 23 日（水）</p>
入札・開札日	平成 28 年 3 月 24 日（木）
業務履行期間	平成 28 年 4 月 1 日（金）午後 4 時 ～ 平成 29 年 4 月 1 日（土）午後 4 時

独立行政法人日本学生支援機構 損害保険仕様書

1. 共通事項（火災保険、賠償責任保険、自動車保険）

- (1) 保険契約者 : 独立行政法人日本学生支援機構
- (2) 被保険者 : 独立行政法人日本学生支援機構
- (3) 保険期間 : 平成 28 年 4 月 1 日午後 4 時から平成 29 年 4 月 1 日午後 4 時まで（1 年間）
- (4) その他
 - ① 「保険料支払猶予特約（独立行政法人等用）」を付帯する
 - ② 補償内容が満たされれば、保険種目、特約条項等の名称は問わない

2. 財産保険（火災保険）

- (1) 保険種目 : 普通保険約款でいわゆるオールリスク担保の保険種目とする
なお、火災保険にオールリスク担保特約で対応することも可とする
- (2) 保険の目的 : 被保険者が所有する下記の全ての物件
※添付資料「財産保険目的明細書」ご参照
 - ① 建物およびこれに付帯する工作物一式
 - ② 機械設備・装置
 - ③ 什器・備品等（盗難については、業務用通貨、預貯金証書等を含みます。）
 - ④ 門、塀もしくは垣または物置、車庫その他の付属建物
- (3) 契約方式
 - ① 多構内特殊包括契約
 - ② 支払い限度額設定方式
- (4) 担保危険
 - ① 火災、落雷、破裂・爆発
 - ② 風災、ひょう災、雪災
 - ③ 航空機の墜落、接触、飛行中の飛行機からの物体の落下
 - ④ 車両の衝突、接触
 - ⑤ 騒じょう、集団行動による暴力行為または破壊行為
 - ⑥ 給排水設備に生じた事故に伴う漏水等による損害
 - ⑦ 電氣的、機械的の事故による損害
(ビル付帯設備、屋外ユーティリティ設備(ボイラ含む)を保険の目的とする。建物内収容機械等は対象外。)
 - ⑧ 破壊行為、ガラス損害、破損
 - ⑨ 盗難による盗取、汚損、破損
 - ⑩ 不測かつ突発的の事故等による損害

- ① 水災
- (5) 保険金額 : 41,892,058千円
- (6) 支払い限度額
 - ① 火災、落雷、破裂・爆発 40億円/一事故
 - ② 上記①以外の事故 10億円/一事故
 - ③ 業務用通貨、預貯金証書等の盗難 1,000万円/一事故

* 保険の目的である施設内における盗難補償とする
- (7) 免責金額 20万円/一事故
- (8) 費用保険金
 - ① 臨時費用保険金
担保危険①～⑥の損害保険金の30%、但し500万円/一事故・一構内
 - ② 残存物取片付け費用保険金
担保危険①～⑥の損害保険金の10%を限度に実額
 - ③ 失火見舞費用保険金
1被災所帯50万円、保険金額の20%を限度
 - ④ 修理付帯費用保険金
火災、落雷、爆発または破裂事故による損害復旧にあたり必要かつ有益な修理付帯費用
保険金額（一構内）の30%、5,000万円を限度

※地震火災費用保険金、傷害費用保険金は不担保
- (9) その他
 - ① 保険期間中途での追加物件自動担保
追加物件の累計額で、保険金額の30%以内(50億円限度)の追加物件については自動担保する。保険期間満了時に精算を行なう。
 - ② 借家人賠償責任特約（オールリスク型）付帯
「財産保険目的明細書」の「借家人賠償特約（千円）」欄に支払限度額が記載されている物件に対して、借家人賠償責任特約（オールリスク型）を付帯する。各物件の支払限度額は「借家人賠償特約（千円）欄」に記載されている金額とする。
 - ③ 保険価額評価方法
建物・・・新価
収容品（機械、設備、什器、備品等）・・・時価

3. 賠償責任保険

- (1) 保険種目 : 賠償責任保険
- (2) 特別約款 : 施設所有管理者特別約款《昇降機(エレベータ・エスカレータ)危険を含む。》

(3) 保険の対象 : 被保険者の所有、使用または管理する全ての施設（昇降機を含む）

(4) 特約条項

- ① 原子力危険不担保特約
- ② アスベスト危険不担保特約
- ③ 専門職業危険不担保特約
- ④ 漏水担保特約
- ⑤ 人格権侵害、宣伝障害担保特約

(1,000万円/一事故・期間中 免責金額 10万円)

不当な身体の拘束による自由の侵害・名誉毀損、表示行為による個人のプライバシーの侵害・他人の誹謗、宣伝に伴う著作権の侵害等をいい、具体的には次のような場合を補償の対象とする。

<例>

- ・不法侵入犯と間違えてお客様を拘束してしまったため、名誉毀損で訴えられた。
- ・PR 冊子の中で使用した写真がプライバシーの侵害にあたるとして訴えられた。
- ・宣伝のコピーが著作権の侵害にあたるとして訴えられた。

- ⑥ 訴訟対応費用担保特約

(1,000万円/一事故・期間中)

- ⑦ 初期対応費用担保特約

(1,000万円/一事故・期間中)

- ⑧ 施設被災者対応費用担保特約

死亡見舞費用保険金 50万円

後遺障害見舞費用保険金 50万円

入院見舞費用保険金	7日以内の入院	2万円
	8日以上14日以内の入院	3万円
	15日以上30日以内の入院	5万円
	31日以上	10万円

通院見舞費用保険金	7日以内の通院	1万円
	8日以上14日以内の通院	2万円
	15日以上30日以内の通院	3万円
	31日以上	5万円

(5) てん補限度額および免責金額

- ① てん補限度額 (対人・対物共通) 20億円/一事故
- ② 免責金額 なし

4. 自動車保険

- (1) 保険種目 : 自動車保険
- (2) 保険の目的 : 被保険者が所有・使用する自動車1台
 ※ 添付資料「自動車明細書・車検証」ご参照
- (3) 担保内容および保険金額
- | | |
|------------------------|------------------|
| : 対人賠償 | 無制限 (免責金額なし) |
| : 対物賠償 | 無制限 (免責金額なし) |
| : 人身傷害 | 5,000万円 (免責金額なし) |
| : 車両保険 | 一般条件 (免責金額なし) |
| : 車両価格は自動車明細書に記載の価格とする | |
- (4) 年齢条件 : 年齢条件の設定がある車種については「26才未満不担保」とする。
- (5) 付帯特約 : 弁護士費用特約、対物事故超過修理費用担保特約《対物事故(車対車事故)で、相手車の修理費が時価額を超えた場合でも、修理費と時価額の差額について50万円を限度に過失割合に応じて補償するもの。》、無保険車傷害特約、車両全損時諸費用補償特約
- (6) NF割引率 : 自動車明細書に記載の通り
- (7) その他 : 普通保険約款、賠償責任条項(対人・対物)および人身傷害条項に基き保険料を算出するものとし、これら補償範囲を縮小する特約の付帯は不可。

5. 役員傷害保険

- (1) 保険契約者 : 独立行政法人日本学生支援機構
- (2) 被保険者 : 独立行政法人日本学生支援機構役員(理事長、理事長代理、理事及び監事)
- (3) 保険期間 : 平成28年4月1日午後4時から平成29年4月1日午後4時まで(1年間)
- (4) その他 : 補償内容が満たされれば、保険種目、特約条項等の名称は問わない
- (5) 補償内容
- ①常勤役員 (役員数6名・記名式)
- | | | |
|---------|---------|---------|
| 死亡・後遺障害 | 5,000万円 | (1名あたり) |
| 入院日額 | 15,000円 | (1名あたり) |
| 通院日額 | 10,000円 | (1名あたり) |
- ②非常勤役員 (役員数1名・記名式)
- | | | |
|---------|---------|---------|
| 死亡・後遺障害 | 3,000万円 | (1名あたり) |
| 入院日額 | 10,000円 | (1名あたり) |
| 通院日額 | 5,000円 | (1名あたり) |
- (6) 特約条項
 就業中のみ担保特約条項(執務中のみ担保)

以上

保険料見積用補足資料

1. 財産保険（火災保険）

- ① 目的明細書の用法欄にある「宿舎」とは、職員及び外国人の留学生等用（一部日本人学生も使用）の居住施設です。（資料1「日本学生支援機構概要」ご参照）
- ② 各施設における消火設備等は、一部を資料3「リスク調査アンケート結果」に記載しております。
- ③ 目的明細書に記載の物件は、現在、火災保険に加入しておりますが、「一般特定割引」を適用している物件はございません。
- ④ 主な収容品は、机、椅子、書棚、ベッド、洗濯機等の生活用動産ならびに机、テーブル、PC、応接セット等の事務所用動産となります。

2. 施設賠償責任保険

施設賠償責任保険の保険料算出に当たりましては、資料1「日本学生支援機構概要」ならびに資料2「財産保険目的明細書」をご参照下さい。

3. 過去の事故状況

本機構の過去3年間（平成25～27年度）における主な事故状況は以下の通りです。

保険種類	過去3年間（平成25～27年度）の事故
・財産保険 （火災保険）	事故日：平成26年12月19日 場所：東京国際交流館A棟A0602号室 受取保険金：26,286円 事故内容：室内と屋外の温度差によるガラス割れ
	事故日：平成26年1月27日 場所：東京日本語教育センター 受取保険金：33,000円 事故内容：侵入者による事務所金庫内現金盗難

*財産保険（火災保険）以外の保険契約で、事故の実績はありません。

4. 施設別のエレベータ、エスカレータ数

施設名	建築時期	エレベーター数	エスカレーター数
市ヶ谷事務所	1964. 11	2	0
金沢国際交流会館	1997. 8	1	0
駒場事務所	1995	1	0
札幌国際交流会館	1999. 12	1	0
東京国際交流館	2001. 7	13	2
東京日本語センター	1973. 7	0	0
兵庫国際交流会館	1999. 3	3	0
福岡国際交流会館	1991. 4	1	0

○添付資料

資料1 日本学生支援機構 2015 概要

資料2 財産保険目的明細書

資料3 リスク調査アンケート結果

資料4 東京国際交流会館図面（ご参考）

資料5 自動車保険明細書・車検証

以 上

(注) 資料1、資料4、資料5の一部(車検証)の添付は省略

日本学生支援機構財産総合保険目的明細書

No.	保険の目的	所在地	名称	用法	構造			物件種別	構造級別	地上階建	地下階建	延床面積(m ²)	保険金額(千円)			借家人賠償特約(千円)
					柱	壁	屋根						建物	収容品	合計	
1	市谷事務所	東京都新宿区市谷本村町10-7	本館	事務所	SRC	RC	RC	一般	1	5	---	6,116.34	1,651,412		1,651,412	
			別館	事務所	I	I	I	一般	1	3	---	834.19	95,200		95,200	
			什器備品					一般							59,000	59,000
市谷事務所小計												6,950.53	1,746,612	59,000	1,805,612	-
2	東京国際交流館	東京都江東区青海2-2-1	プラザ平成	事務所、会議室、宿泊施設	SRC	RC	RC	一般	1	6	1	16,566.05	9,323,270		9,323,270	
			単身用A棟	宿舎	SRC	RC	RC	一般	1	14	1	18,098.39	6,045,530		6,045,530	
			単身用B棟	宿舎	SRC	RC	RC	一般	1	14	1	19,393.72	6,478,220		6,478,220	
			夫婦用C棟	宿舎	SRC	RC	RC	一般	1	11	1	16,654.63	5,563,270		5,563,270	
			家族用D棟	宿舎	SRC	RC	RC	一般	1	9	1	11,232.74	3,752,150		3,752,150	
			クラブハウス	更衣室	SRC	RC	RC	一般	1	1	---	168.60	99,810		99,810	
			什器備品					一般							900,000	900,000
東京国際交流館小計												82,114.13	31,262,250	900,000	32,162,250	-
3	駒場事務所	東京都目黒区駒場4-5-29	管理棟	事務所、会議室	SRC	RC	RC	一般	1	4	1	1,975.66	767,730		767,730	
			ごみ置場A	ごみ置場	RC	RC	I	一般	1	1	---				0	
			簡易物置A	物置	I	---	I	一般	2	1	---				0	
			簡易物置B	物置	I	---	I	一般	2	1	---				0	
			什器備品					一般							110,600	110,600
駒場事務所小計												1,975.66	767,730	110,600	878,330	-
4	東京日本語教育センター	東京都新宿区北新宿3-22-7	A棟	宿舎、校舎	SRC	RC	RC	一般	1	3	1	3,178.62	858,200	60,000	918,200	
			B棟	宿舎、校舎	SRC	RC	RC	一般	1	5	1	3,234.88	873,400	50,000	923,400	
			捕食棟	食堂	RC	RC	I	一般	2	1	---	29.26	6,300	0	6,300	
東京日本語教育センター小計												6,442.76	1,737,900	110,000	1,847,900	-
5	札幌国際交流会館	札幌市豊平区豊平六条6-5-35		宿舎、事務所	SRC	RC	RC	一般	1	11	1	1,532.77	457,576	20,600	478,176	
6	金沢国際交流会館	石川県金沢市もりの里1-147		宿舎、事務所	RC	RC	RC	一般	1	6	---	1,697.11	497,000	18,400	515,400	
7	兵庫国際交流会館	兵庫県神戸市中央区脇浜町1-2-8	管理棟	事務所、会議室等	SRC	RC	RC	一般	1	4	---	2,412.60	736,490		736,490	
			単身棟	宿舎	SRC	RC	RC	一般	1	9	---	5,658.40	1,727,330		1,727,330	
			夫婦棟	宿舎	SRC	RC	RC	一般	1	9	---	2,491.31	760,520		760,520	
			ごみ置場	ごみ置場	SRC	RC	RC	一般	1	1	---	29.00	8,850		8,850	
			駐輪場	駐輪場	I	---	I	一般	2	1	---		300		300	
			駐輪場	駐輪場	I	---	I	一般	2	1	---		300		300	
			什器備品					一般							282,900	282,900
兵庫国際交流会館小計												10,591.31	3,233,790	282,900	3,516,690	-
8	福岡国際交流会館	福岡県福岡市博多区店屋町4-1		宿舎、事務所	SRC	RC	RC	一般	1	9	---	1,732.42	395,000	26,000	421,000	
9	本部	神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3	1階	事務所	SRC	RC	RC	一般	1	3	1	98.91	0	2,300	2,300	30,000
10	豊橋市ヶ谷ビル	東京都新宿区市谷左内町29-3		事務所	RC	RC	RC	一般	1	4	2	800.52	0	6,000	6,000	240,000
11	大阪日本語教育センター	大阪府大阪市天王寺区上本町8-3-13		宿舎、事務所	SRC	RC	RC	一般	1	4	---	4,289.45	0	92,000	92,000	1,000,000
12	東北支部	宮城県仙台市青葉区1番町2-4-1	10階1007区	事務所	SRC	RC	RC	一般	1	15	2	158.16	0	1,500	1,500	48,000
13	東海北陸支部	愛知県名古屋市中区錦1-4-16	3階	事務所	RC	RC	RC	一般	1	10	1	317.02	0	4,100	4,100	100,000
14	近畿支部	大阪府大阪市北区西天満4-11-22	8階801号室	事務所	SRC	RC	RC	一般	1	9	---	330.65	0	3,300	3,300	100,000
15	中国四国支部	広島県広島市中区西白島町16-8	2階	事務所	RC	RC	RC	一般	1	9	---	180.44	0	1,800	1,800	60,000
16	百合ヶ丘第一宿舎	神奈川県川崎市麻生区東百合丘4-34-1		宿舎	RC	RC	RC	住宅	A	5	---	1,501.93	155,700	0	155,700	
総合計												120,713.77	40,253,558	1,638,500	41,892,058	1,578,000

日本学生支援機構 リスク調査アンケート結果

施設概要	施設名	東京国際交流会館
	操業開始年月	2001年7月
	施設規模	敷地面積:35,985.72㎡ 総建築面積:10,562.82㎡ 延床面積:82,647.25㎡
	従業員数	149名(内パート、臨時従業員及び委託業者常駐者数47名) 居住者として985名(749室) *平成28年1月10日現在
	就業形態	7日/週、管理部門9:00~21:00、営業部門9:00~21:00
	施設所有形態	同一人がすべて所有
	施設占有形態	テナントが一部占有 B棟1階 コンビニエンスストア 287.9㎡
	施設周囲	北東側:空き地、南西側:ゆりかもめ(高架)(50m)、南東側:展示施設(日本化学未来館)(70m)、北西側:駐車場(50m)
	リスク所見	交流広場を中心に、単身棟A(北東側)、単身棟B(北西側)、夫婦棟(南東側)、家族棟(南西側)が配置。「プラザ平成」(会議施設、事務室等)は単身棟Aの外側に配置。 四周は道路及びウエストプロムナードであり、他施設からの類焼リスクは極めて低い。
	防火管理	防火管理統括部署
専門組織・委員会		有り 自衛消防組織 2回/年 議事録保存:■YES □NO
「安全管理方針」など		無
職場ハトロール		名称:警備巡回 メンバー:警備員 チェックリスト有無:■YES □NO [目的]共用施設の火気及び侵入者のチェック(毎日)
規定類の作成		□防火管理規定 □臨時火気管理規定 □喫煙管理規定 □構内工事管理規定 □危険物管理規定 □5S管理規定
		■その他(消防計画)
		定期的見直し:■YES □NO [見直しに関する基準・作業フロー等の明確化:□YES □NO]
3S・5S・TPM・ISO		実施活動: 認証取得:□YES □NO []
緊急時連絡網		連絡網:■YES □NO マニュアル:■YES □NO
自衛消防隊		組織:■YES □NO [昼間 21名、夜間 5名、休日 5名]
		消火訓練実施頻度: 2回/年 (消火栓等の実放水: 1回)
消防訓練(全従業員)		実施:■YES □NO [実施月:2、12月 消火器実射:■有 □無 消火栓実放水:□有 ■無、実施記録:■有 □無]
		実施後アンケートまたは反省会:■有 □無
従業員の安全・防災教育		年間計画作成:■YES □NO
喫煙管理		■喫煙場所指定 □喫煙時間指定 □その他() 吸殻専用金属製蓋付容器で回収:■YES □NO
厨房施設		■YES □NO [建物名称:単身用A棟(各階食事室・調理実習室)居室内(B~D棟)単身用B棟(1階コンビニエンスストア)プラザ平成(レストランスベース:未使用)]
構内工事管理		事前許可制制度:■YES□NO、火気使用中”等の表示:■YES□NO、マニュアルの作成:□YES□No、工事監督体制の明確化:■YES□NO
ストーブ使用		□YES ■NO [使用場所:]
焼却施設		□YES ■NO
構内警備		警備員常駐:■YES □NO
		人数:昼間 5名、夜間 5名、休日 5名 巡回頻度: 20回程度/日
		巡回警備に巡回時計やタイムレコーダーを使用:□YES ■NO 巡回日誌などの巡回記録を保存:■YES □NO
機械警備		□YES ■NO
	警備会社名: [警備時間 □常時 □夜間のみ □休日のみ □その他()]	
防犯機器の設置	■YES □NO	
	機器の名称:監視カメラ設備(モニター:防災センター カメラ:各所) 機器の名称:防犯カードリーダー設備(監視装置:防災センター カードリーダー:各所)	
防火戸、防火シャッター等	有資格者定期点検の実施:■YES □NO [実施頻度:年2回 実施者:株式会社アズビル]	
リスク所見	屋外に設ける指定の喫煙場所以外は、施設内での喫煙の禁止を徹底。 1日20回程度におよぶ館内巡回およびソフト・ハードともに優れた防災管理を実施している。	

消防能力	消防用設備	■自動火災報知設備 ■屋内消火栓設備 ■屋外消火栓設備 ■スプリンクラー設備 □ハロン消火設備 □炭酸ガス消火設備 □動力消防ポンプ設備 [□消防ポンプ自動車 □可搬消防ポンプ(車両に固定)□可搬消防ポンプ(車両に非固定)] ■泡消火設備 [□固定泡 □泡ノズル □泡ヘッド] □その他()]
	非常電源	自家発電設備または蓄電池設備設置もしくは予備ディーゼルポンプ(バックアップ) ■YES □NO
	消防用設備点検	有資格者による定期点検:■YES □NO [実施頻度: 2回/年 点検業者名:ホーチキ株式会社]
	機能点検及び起動試験	■YES □NO [担当部署:アズビル株式会社 起動試験結果保存 ■YES □NO] ■自動火災報知設備機能点検(実施頻度: 2回/年) ■ポンプ起動試験 [■消火栓(2回/年) ■スプリンクラー(2回/年) □動力消防(回/年) ■自家発電(2回/年)]
	公設消防(最寄)	名称:深川消防署 [走行距離 2,000m ポンプ自動車台数 1台]
	公設消防使用水利	■貯水槽(40㎡ × 3ヶ所) □公設消火栓 □その他()
	火災通報装置	■YES □NO [(Noの場合)事務所や守衛室などに通報要領を掲示 □YES □NO]
	提供情報	危険物施設、消防水利設置状況。構内の建物・設備配置等公設消防に提供すべき情報 ■YES □NO
	リスク所見	①国際交流プラザ ・水源 75.9㎡ ・スプリンクラーポンプ 700~1,250 1,080 l/m × 111~98 101 m × 37kw ・スプリンクラーポンプ(放水型) 1,250~1,800 1,650 l/m × 102~96 85 m × 45kw ・泡放水ポンプ 900~1,250 1,050 l/m × 81~73.5 78 m × 30kw 泡タンク800l 水成膜(3%型) ・屋内消火ポンプ 140~ 300 l/m × 120~114 106 m × 11kw ・GR型受信盤を1
	ユーティリティ設備	エアコンプレッサー
ボイラー		□YES ■NO (地域熱供給による) 設置状況:①型式 使用目的 燃料 使用状況 定格蒸発量 kg/hr 常用蒸発量 kg/hr
自家発電設備		設置台数: 1台 容量 625KVA 使用目的:□防災設備用 □作業設備用 □その他()
特高変電所		□YES ■NO [受電方式:□1回線 □2回線 □その他() 設置場所:] 受電電圧: V 合計容量: kVA 売電契約電力: kw
工業用水		給水源:□公設水道 □井戸 □その他(なし) 使用水量: m3/h 水圧 kg/cm2
ガス		種類:■都市ガス(A棟(洗濯乾燥機、調理実習室)、CD棟(給湯及び床暖房)用) □LPガス □その他()
電算機(EDP)施設		リース設備:□YES □NO 主な使用目的:□生産管理 □商品管理 □経理管理 □その他()
		UPS(無停電電源装置)またはCVCF(定電圧定周波装置)の設置:■UPS □CVCF □無
		データバックアップ(定期的)作成:□YES □NO 保管場所:■電算室内 □その他()
火災事故歴		罹災経験(過去5年間) ■YES □NO 事故の種類:■火災・爆発 □落雷 □風ひょう雪災 □水災 □地震 ■その他(ガラス損害) [事故の概要(保険金請求無も含める) 東京国際交流会館留学生・研究者宿舎単身用A棟12階居室内の壁・床・備え付け備品・ロールカーテン等の損害 受取保険金額:1,825,123円 火災原因:収れん火災によるもので、太陽光が室内の凹面鏡に反射してダンボールを照射(平成24年度) [罹災後に講じられた再発防止対策] 上記の火災原因を全居住者に周知した上で、窓際には照射する可能性がある物を置かないよう指示。
風災対策	風災対策マニュアル	□YES □NO [正式名称:]
	構内全域安全点検	□YES □NO [安全点検チェックリスト作成:□YES □NO 実施者:]
	事業所周囲	海岸(500m以内):■YES □NO
	主要建物	屋根もしくは外壁材にスレートや鉄板を使用、かつ建築後もしくは張り替え工事後15年以上経過している建物:□YES ■NO
		窓ガラスは網入りガラスや強化ガラスを使用もしくは飛散防止フィルム等で補強:■YES □NO
重要なメインケーブルは地下に埋設:■YES □NO [(Noの場合)架空配線は防護配管等で防護:□YES □NO]		
損害賠償事故歴	損害賠償事故経験(過去5年間) □YES ■NO	
盗難事故歴	盗難事故経験(過去5年間) □YES ■NO	

日本学生支援機構 リスク調査アンケート結果

施設概要	施設名	兵庫国際交流会館
	操業開始年月	平成11年3月
	施設規模	敷地面積: 4,123.59㎡ 総建築面積: ㎡ 延床面積: 10,371.89㎡
	従業員数	4名(内パート及び臨時従業員数 1名)
	就業形態	5日/週、管理部門 9:00~18:00
	施設所有形態	同一人がすべて所有
	施設占有形態	所有者がすべて占有
	施設周囲	東側:住宅(10m)、西側:公園(5m)、南側:店舗(10m)、北側:遊歩道(5m)
	リスク所見	四周の建物からは十分な距離があり、西側は公園、北側は遊歩道であり、類焼リスクは極めて小さい。 阪神大震災で大きなダメージを受けた地域に所在。周囲施設は全て震災後に建て直されている。
防火管理	防火管理統括部署	部署名:近畿支部
	専門組織・委員会	名称: 年/回 議事録保存: ■YES □NO
	「安全管理方針」など	有
	職場ハトール	無 [目的]
	規定類の作成	■防火管理規定 □臨時火気管理規定 □喫煙管理規定 □構内工事管理規定 □危険物管理規定 □5S管理規定 □その他 定期的見直し: ■YES □NO [見直しに関する基準・作業フロー等の明確化: ■YES □NO]
	3S・5S・TPM・ISO	実施活動: 認証取得: □YES ■NO []
	緊急時連絡網	連絡網: ■YES □NO マニュアル: ■YES □NO
	自衛消防隊	組織: ■YES □NO [昼間 2名、夜間 4名、休日 4名] 消火訓練実施頻度: 2回/年 (消火栓等の実放水: 回)
	消防訓練(全従業員)	実施: ■YES □NO [実施月: 6・12月 消火器実射: ■有 □無、消火栓実放水: □有 ■無、実施記録: ■有 □無] 実施後アンケートまたは反省会: ■有 □無
	従業員の安全・防災教育	年間計画作成: ■YES □NO
	喫煙管理	■喫煙場所指定 □喫煙時間指定 □その他() 吸殻専用金属製蓋付容器で回収: ■YES □NO
	厨房施設	■YES □NO [建物名称: 単身棟2階~9階(8箇所)]
	構内工事管理	事前許可制制度: □YES ■NO、火気使用中”等の表示: □YES ■NO、マニュアルの作成: □YES ■No、工事監督体制の明確化: □YES ■NO
	ストーブ使用	□YES ■NO [使用場所:]
	焼却施設	□YES ■NO
	構内警備	警備員常駐: ■YES □NO 人数: 昼間 名、夜間 2名、休日 1名 巡回頻度: 5回/日 巡回警備に巡回時計やタイムレコーダーを使用: □YES ■NO 巡回日誌などの巡回記録を保存: ■YES □NO
	機械警備	□YES ■NO 警備会社名: [警備時間 □常時 □夜間のみ □休日のみ □その他()]
	防犯機器の設置	■YES □NO 機器の名称: 赤外線センサー、ドーム型カラーカメラ(各棟入口4箇所)
	防火戸、防火シャッター等	有資格者定期点検の実施: ■YES □NO [実施頻度: 年2回 実施者: ハナソニックES防災システムズ株式会社]
	リスク所見	共用部分では、禁煙が徹底されている。

消防能力	消防用設備	■自動火災報知設備 ■屋内消火栓設備 ■屋外消火栓設備 □スプリンクラー設備 □ハロン消火設備 □炭酸ガス消火設備 □動力消防ポンプ設備 [□消防ポンプ自動車 □可搬消防ポンプ(車両に固定) □可搬消防ポンプ(車両に非固定)] □泡消火設備 [□固定泡 □泡ノズル □泡ヘッド] □その他()]
	非常電源	自家発電設備または蓄電池設備設置もしくは予備ディーゼルポンプ(バックアップ) ■YES □NO
	消防用設備点検	有資格者による定期点検: ■YES □NO [実施頻度: 1回/年 点検業者名: ハナソニックES防災システムズ株式会社]
	機能点検及び起動試験	■YES □NO [担当部署: 起動試験結果保存 ■YES □NO] ■自動火災報知設備機能点検(実施頻度: 2回/年) ■ポンプ起動試験 [■消火栓(2回/年) □スプリンクラー(回/年) ■動力消防(2回/年) ■自家発電(2回/年)]
	公設消防(最寄)	名称: 神戸市中央消防署 [走行距離 3km ポンプ自動車台数 台]
	公設消防使用水利	■貯水槽(2.4㎡) □公設消火栓 □その他()
	火災通報装置	■YES □NO [(Noの場合)事務所や守衛室などに通報要領を掲示 □YES □NO]
	提供情報	危険物施設、消防水利設置状況。構内の建物・設備配置等公設消防に提供すべき情報 ■YES □NO
	リスク所見	管理室に設置された受信盤(P型1級)で全棟を管理。 屋内消火栓を全館、全フロアに設置。
	ユーティリティ設備	エアコンプレッサー
ボイラー		□YES ■NO 設置状況: ①型式 使用目的 燃料 使用状況 定格蒸発量 kg/hr 常用蒸発量 kg/hr
自家発電設備		設置台数: 1台 容量 47KVA 設置場所: 電気室 使用目的: ■防災設備用 □作業設備用 □その他()
特高変電所		□YES ■NO [受電方式: □1回線 □2回線 □その他() 設置場所:] 受電電圧: V 合計容量: kVA 売電契約電力: kw
工業用水		給水源: □公設水道 □井戸 □その他(なし) 使用水量: m3/h 水圧 kg/cm2
ガス		種類: □都市ガス □LPガス □その他()
電算機(EDP)施設		リース設備: □YES □NO 主な使用目的: □生産管理 □商品管理 □経理管理 □その他() UPS(無停電電源装置)またはCVCF(定電圧定周波装置)の設置: □UPS □CVCF □無 データバックアップ(定期的)作成: □YES □NO 保管場所: ■電算室内 □その他()
火災事故歴		罹災経験(過去5年間) □YES ■NO 事故の種類: □火災・爆発 □落雷 □風ひょう雪災 □水災 □地震 □その他() [事故の概要(保険金請求無も含める)] [罹災後に講じられた再発防止対策]
風災対策		風災対策マニュアル □YES ■NO [正式名称:] 構内全域安全点検 □YES ■NO [安全点検チェックリスト作成: □YES ■NO 実施者:] 事業所周圍 海岸(500m以内): ■YES □NO 主要建物 屋根もしくは外壁材にスレートや鉄板を使用、かつ建築後もしくは張り替え工事後15年以上経過している建物: □YES ■NO 窓ガラスは網入りガラスや強化ガラスを使用もしくは飛散防止フィルム等で補強: ■YES □NO 重要なメインケーブルは地下に埋設: ■YES □NO [(Noの場合)架空配線は防護配管等で防護: □YES □NO]
損害賠償事故歴		損害賠償事故経験(過去5年間) □YES ■NO

独立行政法人 日本学生支援機構 自動車保険明細書

No.	用途車種	車名	登録番号	型式	車台番号	初度登録	車検満了日	車両保険金額	年齢条件	現行契約		
										保険期間	NF等級	事故歴
1	自家用普通乗用車	トヨタ セルシオ	品川301な7158	UCF31	UCF31-0069507	平成18年3月	平成29年3月30日	220万円	26歳未満不担保	平成27年4月1日 ～1年間	9等級	なし

* 車両保険金額は新契約(平成28年4月1日からの契約)に適用する金額です。

* NF(ノンフリート)等級は、現行契約に適用されている等級です。